

第3回 下妻市地域公共交通活性化協議会 会議録

会議の名称	第3回 下妻市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成27年3月24日(火) 午前10時00分～午前11時45分
開催場所	下妻市役所第二庁舎 3階 大会議室
出席者	委員：高橋節雄、飯塚 薫、稲葉富士夫、渡邊欣一、鈴木和則、鯨井登美子、埴 正明、関口妙子、岡本直久、野上雅嗣、飯田孝志、川上敬一、池田 久(代理：秋葉清一)、江寺雅晴、高橋眞一、澤畠政志、荒川安男、黒須英夫、千葉博志、中村美千代、黒澤正美、飯島 孝 事務局：企画課長 渡辺 尚、企画課課長補佐 小林正幸
欠席者	委員：飛田貞雄、野中周一
会議の議題および会議資料の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域公共交通の方針(案)について (2) 地域公共交通の導入の検討について 4. 承認事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請について 5. その他 6. 閉 会
会議における主な決定事項	<p>協議事項(1) 地域公共交通の方針(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局提案の方針について委員一同の承諾を得ました。 <p>協議事項(2) 地域公共交通の導入の検討について</p> <p>今後の検討にあたり、下記の視点が重要であることがわかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行経費を減らすための工夫 ・交流人口の増加に向けた近隣市町村(つくば市や筑西市など)との連携 ・常総線やパープルバスなど既存資源の有効活用、既存路線との棲み分け ・複数モード(鉄道とバス、バス同士など)の結節 ・時間帯とターゲットを考慮、メリハリをつけた運行計画 ・何を重視し何を目的とするのか、将来の下妻市の姿を見据えた戦略を持つ <p>承認事項(1) 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施を検討します。 ・事務局提案の申請書について委員一同の承諾を得ました。
議事の経過及び発言の要旨	別紙のとおり

別紙 会議録

事務局 渡辺	<p>本日は、大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 定刻になりましたので、ただいまから、下妻市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。 会議進行上、申し訳ございませんが、携帯電話は、電源を切るかマナーモード設定をしていただきたいと思います。 会議に先立ちまして、野中会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
野中会長	<p>会長の野中でございます。 本日は公私ともに大変お忙しいところ第3回の協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。 本日は協議事項が2点、承認事項が1点ございますので、委員のみなさまの忌憚のない積極的な御意見をいただけますようお願い申し上げます。</p>
事務局 渡辺	<p>それでは、会議に移らせていただきます。 規約第6条で、副会長が会議の議長を務めることとなっておりますので、岡本副会長に議長をお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
議長（副会長）	<p>規約に従いまして、議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をお願いいたします。 これより議事に入りますが、本日、出席委員22名でございます。本協議会規約第6条第2項により出席委員数が過半数に達しているので会議が成立していることを報告します。 それでは、次第の議題に基づきまして、議事を進めさせていただきます。 はじめに3の協議事項（1）地域公共交通の方針（案）について事務局より説明願います。</p>
事務局 小林	<p>まず初めに、本日の会議資料を確認させていただきます。 本日、机の上には会議次第の他に、委員名簿、会議の配席図、前回の議事録と、資料といたしまして、資料1、資料2、資料3をお配りさせていただきました。資料に不足がございましたら、お申し付け下さい。 まず、今後のスケジュールについて修正がございますので説明します。 平成27年度の第2回目の会議におきまして、5．早期に解決すべき課題、6．推進方策の検討の次に、「形成計画素案を提示」を追加いたしました。 なお、地域公共交通の方針は、右側の矢印にありますとおり、各項目の検討にあわせて修正・拡充していくとなっておりますので、今後も必要に応じ、修正していきます。また、会議の回数についても、必要に応じて追加したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。 つづいて、協議事項（1）地域公共交通の方針（案） について説明</p>

	(質疑応答)
議長(副会長)	平成 27 年度の協議会の開催月の目処があれば教えていただきたい。
事務局 渡辺	平成 27 年度の第 1 回協議会は、国への補助金申請後の 5 月を予定、第 2 回協議会は 7 月または 8 月を見込んでいます。
議長(副会長)	協議事項(1) 地域公共交通の方針(案)について、事務局提案の方針でよろしいでしょうか。
	(一同承認)
議長(副会長)	ありがとうございます。 つづいて、協議事項(2) 地域公共交通の導入の検討について事務局より説明願います。
アルメック内山	協議事項(2) 地域公共交通の導入の検討 について説明
	(質疑応答)
議長(副会長)	バス、デマンド、タクシーの様々なパターンを提案いただいた。 まずは基本的な考え方を提示いただいたが、たとえば、郊外コミュニティバスの やすらぎの里と 筑波サーキットを直接結ぶという方法もあるかもしれない。 p8 の郊外のコミュニティバスの支出は路線の距離によるものでしょうか。
アルメック内山	その通りです。路線延長に単価をかけて算出しています。
関口委員	デマンド型乗り合いタクシーの運行時間はどのなのでしょう。
アルメック内山	p10 に記載がありますが、8 時台から 17 時台、通勤通学、通院を想定して設定しています。
関口委員	東京に出張に行った帰りの夜遅い時間に利用できればいいなと思うのですがいかがでしょうか。
議長(副会長)	その場合は一般のタクシーではだめなのでしょうか。
関口委員	夜遅いと駅にタクシーがないことが多いです。
黒須委員	タクシーの台数は、市内に 14 台、下妻駅には 2 台しかいません。台数を増や

<p>アルメック内山</p>	<p>したいとは思いますが、利用者が少ないのでタクシーも増えないという状況です。お客様に呼ばれて配車しても、お客様は別のタクシーに乗ってしまい空振りになるケースもあります。デマンドの話も事業者としたことがありますが、デマンドは難しいという感触でした。</p>
<p>埜委員</p>	<p>デマンドタクシーについては、借り上げではなく、既存の営業車にマグネットを貼ってデマンドタクシーとし、自治体・事業者・利用者の3者が負担するという方法で運営している事例があります。</p>
<p>アルメック内山</p>	<p>タクシー利用助成事業を拡大し、下妻方式をつくるのがよいのではないのでしょうか。高校生など学生も含めて検討してはどうでしょうか。市街地+郊外のコミュニティバスは計5台のバスが走るようになります。経費を減らすための工夫として、たとえば、郊外は曜日別にしたり、時間帯を分けるなどの検討もあるのではないのでしょうか。</p>
<p>議長（副会長）</p>	<p>県内の事例として、土浦の新治バスや五霞町のコミュニティバスで、曜日別の運行をしたことがありますが、利用者が定着しなかったという事例があります。経費削減の工夫は必要なので検討していく必要があると思います。</p>
<p>黒澤委員</p>	<p>観光の視点でみると、曜日別は不便となるので、なるべく不便のない路線設定がよいと思います。</p>
<p>議長（副会長）</p>	<p>本市では交流人口の増加に向けて、近隣市町村（つくば市や筑西市など）との連携も重要だと思います。</p>
<p>アルメック内山</p>	<p>常総線やパープルバスは貴重な資源なので、こうした既存の資源を有効活用し、育てることも重要だと思います。</p>
<p>飯塚委員</p>	<p>複数モードの結節が重要だと思います。たとえば牛久市のかっぱ号は、JRの時刻表にぴったり合うようにコミュニティバスの時刻表を設定しています。</p>
<p>議長（副会長）</p>	<p>定時定路線の場合、ルート近くの住民は便利ですが、そこから離れた地域はバスが利用できず、自家用車を利用することになると思います。</p>
<p>鯨井委員</p>	<p>富山市では、バス停沿線に移り住む人に助成し、将来的には公共交通沿線人口40%を目指しています。公共交通を前面に掲げたまちづくりをするのか、それとも現在の住宅をベースに公共交通を計画するのかという議論が必要だと思います。</p>
<p>鯨井委員</p>	<p>介護や介助が必要な方の利用も考慮していただけたらと思います。</p>

議長（副会長）	<p>関東鉄道バスは全乗務員が介助の訓練をされていると聞いています。</p>
アルメック内山	<p>市民団体の協力や保健福祉課との連携が必要になりますが、一つの事例として、土浦市のきららちゃんバスでは、ボランティアとして介助士が乗車しています。</p>
荒川委員	<p>その場合はノンステップバスが必要になります。また、税金を使うバスだからといって市内全域を回ろうとすると、運行本数が減少し、使い勝手が悪くなり、結果として使ってもらえず事業が成り立たなくなる危険性があるのでメリハリをつけた運行計画が必要だと思います。デマンドタクシーについては、一般路線との棲み分けが心配です。</p>
アルメック内山	<p>本日の資料は概略検討のための基本的な考え方を提示していますが、既存路線との棲み分けについては今後の課題として検討いたします。</p>
川上委員	<p>常総線の活用がないことが寂しい。たとえば郊外コミバス やすらぎの里と筑波サーキットは常総線（宗道駅）にアクセスしてはどうか。</p>
アルメック内山	<p>ご指摘の点は岡本先生との事前打ち合わせでも議論になりました。今回の資料は、議論のたたき台として典型的なパターンを提示しました。市街地コミバスの2パターンについてもご意見いただけると助かります。</p>
議長（副会長）	<p>p4の市民の移動ニーズをみると、病院が上位にあります。できればp7の図に主要な施設を記載していただきたい。</p>
関口委員	<p>大畑病院や記念病院は送迎バスがあります。こうしたサービスでは病院内でバスを待つことができます。暑い夏や寒い冬は、外でバスを待つことが苦痛になることがあるのでバス待ち環境の改善も重要だと思います。</p>
関口委員	<p>市街地の案1（ピアスパーク～下妻駅～市役所～イオン）は良いルートだと感じました。イオンやピアスパーク、さらにその先の公園は需要が多いと思います。</p>
議長（副会長）	<p>バスが商業施設内に入ることについてはどうでしょうか。</p>
千葉委員	<p>商業施設内に入ることは、利用者にとって便利になる一方、時間がかかる、事故が増えるというデメリットがあります。土浦のイオンの例ですが、とても事故が多いです。</p>
高橋委員	<p>ピーク時間帯は時間ロスにもなるため、商業施設に入る場合は時間帯を考慮</p>

	<p>する必要があります。日中のオフピークはよいかもしれません。</p>
議長（副会長）	<p>時間帯の考慮が必要ということですね。</p>
高橋委員	<p>通勤通学時間帯は駅へのアクセス、日中はイオンへのアクセスが多いと思います。鉄道とバス、バス同士の組み合わせを考えると時間帯の利用特性を考えるべきです。たとえば朝の通勤通学ピーク時は複数の鉄道駅に分散していただくと助かります。</p>
議長（副会長）	<p>たとえばイーグルバスは、午前中は往路のみが混み、夕方は復路のみが混む、こうした利用特性に対応して成功した事例があります。ご指摘の点を踏まえ検討していきたいと思います。</p>
渡邊委員	<p>市としては、数千万円の赤字はかまわないという考えでしょうか。数千万円の赤字を続けたうえに利用者がほとんどいないようではやらない方がよいと思います。タクシー助成の充実のように使いたいときに使えるようなものでよいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>収支と福利厚生バランス、痛みが少ない着地点を見極める必要があります。現時点で着地点は見定めることは難しいですが、支出ができるだけ少なく、利便性が高い方法を皆さまとともに検討したいと思います。</p>
議長（副会長）	<p>公共交通ができた場合に、それを利用するように生活スタイルを変えろといった市民の協力も必要となります。本日の会議では議題にありませんが、公共交通を市民の皆でどのように支えていくかを今後の協議会で議論していく予定です。</p>
埜委員	<p>コミュニティバスで定期券を導入することは可能でしょうか。</p>
アルメック内山	<p>可能です。その場合は、既存のパープルバスの割引率を考慮して検討する必要があります。</p>
荒川委員	<p>他地区の事例でもコミュニティバスに定期券を導入している事例があります。公共交通の導入により人が動けば街が活性化しますので、こうした議論はぜひ今後も継続すべきだと感じています。</p>
関口委員	<p>通勤通学は関東鉄道のダイヤに合わせて設定していただきたい。高齢者へのタクシー券は、配布しても使わない世帯も多いので高齢者に限定せず一般世帯にも配布してはどうでしょうか。</p>

埜委員	<p>今回の議論が福祉を重視するのか、全体の移動手段とするのか、観光なのか、どこを重視するのかを考えるのが先ではないかと思います。</p>
議長（副会長）	<p>資料1をご覧いただきたい。 民間のバスは市の負担はないので、まずはこれをどんどん使っていただきたい。 ご指摘いただいたとおり、何を重視し何を目的とするのか、10年後の下妻市はどうなっているのか、そこに向かってどのように公共交通を成長させるのか、こうした戦略が重要です。往々にして、地方の公共交通は、利用者が少ない、そのため事業性が悪化し、運行本数を減らすためさらに利用者が減るという悪循環が見られます。下妻市では、公共交通は便利だということを知ってもらうことが大切です。 次回は、引き続き今日の議論を行いつつ、政策についても検討していきたいと思います。</p>
議長（副会長）	<p>つづいて、承認事項（1）平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請について事務局より説明願います。</p>
事務局 小林	<p>承認事項（1）平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付申請について説明</p> <p style="text-align: center;">（ 質疑応答 ）</p>
議長（副会長）	<p>パブリックコメントは必要ないのでしょうか。</p>
事務局 小林	<p>パブリックコメントの実施を検討していきます。</p>
会長	<p>住民懇談会は何カ所程度を予定しているのでしょうか。沿線アンケート調査は過去に一度やっていますが、今回はどのような予定でしょうか。</p>
事務局 渡辺	<p>住民懇談会と沿線アンケートは必要に応じて実施としているので、協議会の中で必要と判断した場合に実施します。現時点では、必ず実施というものではありません。</p>
議長（副会長）	<p>沿線アンケートは路線がある程度固まった場合には貴重な情報源となりますのでご検討いただければと思います。 事務局提案の申請書について承認いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（一同承認）</p>

議長（副会長）	<p>ありがとうございました。 その他について事務局からありましたらお願いします。</p>
事務局 渡辺	<p>2点、ご連絡いたします。 1点目は、次回の会議の予定ですが、新年度になり、本日承認いただいた補助金の交付決定がなされた後の開催を予定しています。5月以降になるかと思いますが、日程が決まり次第通知を差し上げます。 2点目は、委員報酬についてです。今年度分の報酬について今回までの出席回数に応じ指定の口座へお支払いさせていただきます。 なお、報酬規定にあるとおり、国、県、市、その他申し出のあった委員については、これを支給しないものとなっておりますのでご了承ください。</p>
議長（副会長）	<p>委員のみなさまからその他ご意見・ご連絡等ございませんか。 他に無いようですので、以上をもちまして、議事を終了させていただきます。長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。</p>
事務局 渡辺	<p>それでは、これをもちまして、第3回 下妻市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">午前11時45分散会</p>